### 特徴

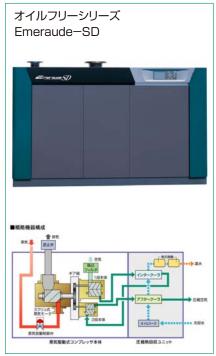
- ■蒸気の減圧エネルギーによる蒸気モータで駆動される電気レスエアコンプレッサ
- ■従来捨てられていた空気圧縮熱を回収しボイラ給水の予熱に利用
- ■電動式エアコンプレッサに比べてランニングコスト▲85%、CO₂排出量▲90%削減可能

# 概 要 (技術の原理・動作等)

工場内ユーティリティー蒸気系での減圧弁による減圧工程に着目し、そこでの蒸気圧力差≪未利用蒸気エネルギー≫でエアコンプレッサを駆動するコンプレッサユニットと、通常は大気に放出される空気を圧縮する時に放出される圧縮熱≪廃棄エネルギー≫を回収しボイラ給水の予熱を行う圧縮熱回収ユニットを組み合わせた、世界初の「圧縮熱回収型蒸気駆動式エアコンプレッサ」です。今まで利用されていない蒸気の圧力エネルギーを活用する事から入力エネルギー単価が比較的安く、廃棄していた空気圧縮熱の回収によりランニングコストが大幅に削減できるものです。また、電気レスコンプレッサであり大幅な節電対策にも対応できます。工場でのユーティリティシステム効率の圧倒的な向上に寄与する「究極の省エネ・環境対応エアコンプレッサ」です。

(本製品は神戸製鋼と三浦工業との共同開発製品です。)

# AS油シリーズ Kobelion-SD Miura は三浦工業の登録商標です。 Miura は三浦工業の登録商標です。 Miura は三浦工業の登録商標です。 Miura は三浦工業の登録商標です。 Miura は三浦工業の登録商標です。 Miura は三浦工業の登録商標です。



製品写真及び構造図

		Kobelion SD			Emeraude-SD	
型式		給油式コンプレッサ			オイルフリーコンフ・レッサ	
	項目	$\neg$	SD695L-HR(低圧蒸気仕様)	SD1310L-HR(低圧蒸気仕機)	SD1310M-HR(中圧撤気仕機)	SD770L-HR(低圧蒸気仕様)
吐出し空気量 m3/min		6.05~6.95	12.4~13.1		7.7	
吸込み条件 圧力/温度			大気圧(1bar)/2~40°C			
吐出し条件 圧力/温度			0.85~0.6MPa/55℃以下	0.7~0.6MPa/55℃以下		0.7MPa(一定圧制御の設定は0.64以下)/55℃以下
空気圧制御			給気蒸気絞りでの回転数制御による一定圧制御			
空:	空気負荷制御範囲 %		105~20	105~10		100~40
圧縮機軸動力 kW		38.6	75.0		55.0	
7	型式		オイルフリースクリュ型			
745	給気蒸気圧力(最大/最少)	MPa	0.98/0.38	0.98/0.45	1.94/0.45	0.98/0.45
	排気圧力(最大)	MPa	0.60	0.53以下	1.45以下	0.53以下
	蒸気必要差圧(定格)	MPa	0.38	0.45	0.50	0.45
9	通過蒸気量	t/h	3.0~1.2(排気0.4MPa時2.4t/h)	3.8~2.0(排気0.35MPa時3.2t/h)	8.5~2.0 (排気1.0MPa時6.3t/h)	2.8~1.1 (排気0.4MPa時2.5t/h)
圧縮熱取詞組ユニッ	熱出力(定格運転時)	kW	60			78
	水質		軟水 軟水			
	水量	L/min	17(給水35℃・出口85℃時)	36(給水35℃・出口85℃時)		
	許容給水温度	°C	35℃以下			
	許容給水圧力	MPa	0.5以下			
· 給水出口温度 °C		65~85設定可能				
潤:	潤滑油初期充填量 L		25	60		16
制	卸補機電源		3 φ-200/220V 50/60Hz共用 1kVA	3 φ-200/220V 50/60Hz共用 1.6kVA		
制御空気 L/min		100(圧力0.4MPa以上 オイルレス清浄乾燥エア)	200(圧力0.4MPa以上 オイルレス清浄乾燥エア)		100(圧力0.4MPa以上 オイルレス清浄乾燥エア)	
外形寸法(幅×奥行×高さ) mm		2,430 × 1,100 × 1,500	2,870 × 1,200 × 1,500		2,080 × 1,200 × 1,500	
概略重量 kg			1,500	2,500		1,440

機器仕様表

## 効 果

- ○従来の電気モータ駆動エアコンプレッサから既に使用している蒸気を利用して「圧縮熱回収蒸気駆動式コンプレッサ」を導入することにより、大幅な電力削減が出来ます。又、廃熱ボイラやコージェネレーション等で蒸気に余剰が出ている場合は、廃棄している蒸気(エネルギー)を回収する事が可能となりエネルギーコストゼロで圧縮エアーを製造できます。
  - 一例として、使用している減圧弁を利用して上記 Kobelion SD1310L—HRを導入した場合のメリットは年間50万kWの節電と250 t-CO₂の削減が期待できます。(年間6000時間運転時)

# コベルコ・コンプレッサ株式会社

システムエンジニアリング部 蒸気グループ

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目6番4号

TEL / 03-5496-0014
 FAX / 03-5496-0018
 http://www.kobelco-comp.co.jp/